



竹村石材新聞

まだまだ寒い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。日は少しずつ長くなり、春の足音が感じられますね。今年1月に76歳になった父が、8時間程かかる大きな手術をすることになりました。父は山育ちで、山仕事に



おいては息子の私はおろか、野球で鍛えた孫たちでも敵わないほどの働きっぷりです。春までには退院できると思いますが、退院後は無理ができなくなることでしょう。私は日頃運動不足の上に花粉症なので、父のように山仕事をこなすことは難しいですが、それでも、先祖伝来の山を父に代わって守っていけるよう、父が退院したら山仕事のことを色々と教えてもらおうと思っています。

竹村石材新聞の過去記事はこちらでご覧になれます⇒
石材新聞配信希望の方は、下記アドレス脇田宛に件名を記入のうえ、送信ください。 takemura@jeans.ocn.ne.jp



知っていますか? 2月の記念日

●2月28日は「ビスケットの日」です

江戸時代後期の1855年のこの日、ビスケットの作り方を記した書簡「パン・ビスコイト製法書」を水戸藩の蘭方医 柴田方庵が同藩士に送ったことを記念して、全国ビスケット協会が1980年に制定しました。当時のビスケットは軍用の保存食として扱われていたそうです。江戸時代のビスケット・・・どんな味だったのでしょうか?



■発行者 : 竹村石材株式会社

脇田 大 (わきだ まさる)

河北郡津幡町生まれ。妻、息子3人、妻の両親の7人大家族。かつて長男・次男が所属していた野球チームのお父さん方とお酒を飲むことがもっぱらの楽しみです。



竹村公伸



脇田 大

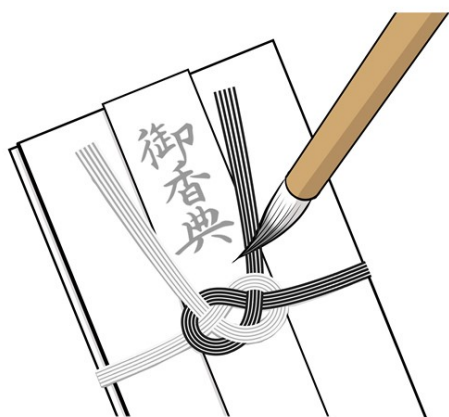


竹村元成

竹村石材株式会社
TEL: 076-241-0325
石川県金沢市寺町5-2-38

😊 ～お墓・仏事のミニ知識～ 😊

★通夜や葬儀に参列するとき～薄墨の意味は？



通夜や葬儀に参列する際に持参する香典袋の表書きは、なぜ薄墨で書くのでしょうか？昔の日本では、文字を書く際は硯で墨を擦って筆で書いていましたよね。はっきり文字が読み取れるような濃さに墨を擦るには、意外に時間がかかります。薄墨は、訃報に際して急いで駆け付けたために、

じっくり墨を擦る時間がなかった、ということを表していると言われています。他にも、悲しみのあまり涙が硯に落ちて墨が薄くなってしまった、という意味もあるようです。そのため、薄墨で表書きを書くのは通夜や葬儀の際のみで、あらかじめ日程の決まっている四十九日以降は、通常の濃い墨を使用します。

仏事クイズ Q&A

知っているようで知らない仏事のことや言葉の意味をクイズで確かめてみましょう。

Q

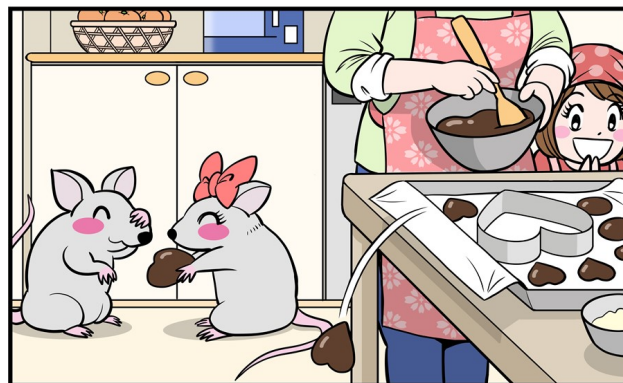
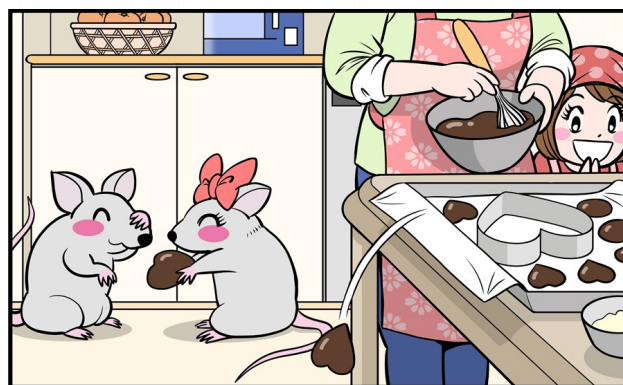
日本にある神社のうち、一番多い神社は？

- ① 天神社
- ② 稲荷社
- ③ ハ幡神社

ヒント

源氏の氏神としても知られています。

🍵 まちがいさがし



上下の絵に間違いが3個あります。探してみましょう。

※クイズとまちがいさがしの正解は、表面の一番下の部分をご覧ください。

ご縁を大切にしたいとの想いで、発行しています。